

# 第 15 期事業報告

自:2019 年 7 月 1 日

至:2020 年 6 月 30 日

## 1. 事業の概況

公益財団法人日本バレーボール協会から独立法人化して15年目を迎えた一般社団法人日本バレーボールリーグ機構はチームが主体となってホームゲームを運営する形態に舵を切り2年目を迎えました。1人でも多くのお客様にVリーグに触れていただくべく広報活動に力を入れたほか、DAZN及びテレビ局各社のご協力により視聴環境の整備にも努めました。また、ビデオ判定システム(チャレンジシステム)を刷新するなど、試合環境の向上にも継続して取り組むことができました。

以下、第15期事業年度の概況を取りまとめご報告致します。

2019年9月25日に開催した第14回定時社員総会において、2019年6月29日に辞任した八田茂理事に代わり、鍛冶良則理事が選任されました。

また、同定時社員総会において、NPO法人Mirrisoスポーツ、ルートインジャパン株式会社の2法人の入社承認とトヨタ自動車株式会社(トヨタ自動車ヴァルキューレ)および廣田観光株式会社(大阪スーペリアーズ)の2法人の退社報告を行い、当機構の法人数は計45法人(46チーム)となりました。

2019-20 V.LEAGUEはDIVISION1 WOMEN開幕戦が台風19号の影響を受け、2会場で予定されていた試合が中止・延期となりました。また、2020年には新型コロナウイルス感染症の拡大のため、DIVISION1 MEN FINALの無観客開催、DIVISION2 MEN計12試合の中止とシーズン打ち切り、V・チャレンジマッチ男子大会の中止など、災害が多大な影響を及ぼしたシーズンとなりました。またV.LEAGUEだけでなく、2020アジアクラブ選手権や2020V・サマーリーグ女子が中止になるなど、その影響は今も続いております。

2019-20 V.LEAGUE DIVISION1 MENは10チームの参加により2019年10月26日に松本市総合体育館(長野県松本市)、武田テバオーシャンアリーナ(愛知県名古屋市)、島原復興アリーナ(長崎県島原市)の3会場で開幕し、3回戦総当たりによるV・レギュラーラウンドと上位5チームによるV・ファイナルステージを行いました。パナソニックパンサーズとジェイテクトSTINGSの対戦カードとなったファイナルは、2020年2月29日に高崎アリーナ(群馬県高崎市)にて開催し、ジェイテクトが初優勝を飾りました。ファイナルは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、無観客での開催となりました。DIVISION1 WOMENはカンファレンス制を導入し、12チームの参加によるV・レギュラーラウンドを、プレミアファレンス、スターカンファレンスそれぞれ6チームによる3回戦総当たりと両カンファレンス間の交流戦を1回戦方式で行いました。プレミアカンファレンスは2019年10月12日にCNAアリーナ★あきた(秋田県秋田市)で、スターカンファレンスはいしかわ総合スポーツセンター(石川県金沢市)でそれぞれ開幕し、両カンファレンスの上位4チームの計8チームがV・ファイナルステージ ファイナル8に進みました。また下位4チームはV・ファイナルステージ チャレンジ4に進むことになりました。ファイナルステージを勝ち進んだJTマーヴェラスと岡山シーガルズによるファイナルは、2020年1月26日に国立代々木競技場第一体育館(東京都渋谷区)にて開催し、JTマーヴェラスが9シーズンぶり2度目の優勝に輝きました。

DIVISION2 MENは12チームによる2回戦総当たり方式のV・レギュラーラウンドを開催し、富士通カワサキレッドスピリッツが優勝しました。新型コロナウイルスの影響により2020年2月28日に開催された緊急理事会において大会の中止が決定され、緊急時対策規程第9条に基づき、チーム成績・個人成績ともに、2020年2月23日の試合終了時点の成績が最終成績となりました。DIVISION2 WOMENは8チームによる3回戦総当たり方式のV・レギュラーラウンドを開催し、群馬銀行グリーンウイングスが優勝しました。

DIVISION3 MEN は 4 チームによる 5 回戦総当たり方式の V・レギュラーラウンドを開催し、奈良ドリーマーズが優勝しました。

V・チャレンジマッチ女子大会は 2020 年 2 月 22 日～23 日にサーラグリーンアリーナ(静岡県浜松市)にて開催し、DIVISION1 WOMEN・12 位のヴィクトリーナ姫路と DIVISION2・1 位の群馬銀行グリーンウイングスが 2 戦方式で対戦しました。結果はヴィクトリーナ姫路が 2 勝し、DIVISION1 残留を決めました。また、男子は新型コロナウイルス感染症の拡大を鑑み、選手・大会関係者ならびに開催地周辺地域への影響を考え、2020 年 3 月 9 日に、2 月 28 日に開催された緊急理事会の結論に基づき大会の開催を中止しました。

DIVISION1 では、2016/17 シーズン以降採用していたチャレンジシステムを、独自のビデオ判定システムから FIVB の公式戦で採用されているホークアイ社のシステムに変更し、スピーディーかつ正確で公正な判定を追求しました。また、公式プロトコールをホームチームが自由に設定変更できるようにしました。これにより、イベントの自由度が高まり、各チームで趣向を凝らした取り組みが行われました。

その他にも、V アプリでのチケット発券サービスの開始や、オフィシャルソングの採用等、トップリーグに相応しい競技・観戦環境の整備に取り組みました。

V リーグ機構の活動成果を経営数値で見ますと、収入面では、新型コロナウイルス感染症の影響で、入場料収入は減少しましたが、助成金は増加し、収入総額は 1,082,692 千円(対前期 43,382 千円増)となりました。また費用面では、同様に、用品用具費、チーム旅費、会場費等の減少により、費用総額は 1,036,871 千円(対前期 ▲65,099 千円減)となりました。経常利益は 46,025 千円(対前期 108,603 千円増)、当期純利益は 40,791 千円(対前期 103,439 円増)となりました。

以下、事業内容を、詳述致します。

## 2. 事業内容

### (1)V.LEAGUE DIVISION1

2019-20 シーズンの MEN は 10 チーム 3 回戦総当たりリーグ戦の V・レギュラーラウンドと V・レギュラーラウンド上位 5 チームによる V・ファイナルステージ(パラマス式トーナメント)の競技形式で、V・レギュラーラウンド 135 試合、V・ファイナルステージ 4 試合の計 139 試合を実施しました。

WOMEN は V・レギュラーラウンドは 12 チーム 2 カンファレンス制を導入し、各カンファレンス 3 回戦総当たりと交流戦を 1 回戦方式で行いました。各カンファレンス上位 4 チームの全 8 チームによる V・ファイナルステージ(ファイナル 8、ファイナル)、各カンファレンス下位 2 チームの全 4 チームによる V・チャレンジステージで順位を決める方式で V・レギュラーラウンド 126 試合、V・ファイナルステージ 16 試合、V・チャレンジステージ 6 試合の計 148 試合を実施しました。男女合計で 287 試合を延べ 94 会場(女子 47 会場、男子 47 会場)にて開催しました。

観戦入場者数を見ると、大会合計で 400,645 人(対前年 53,685 人増)、MEN は 216,564 人(対前年 42,653 人増)、WOMEN は 184,081 人(対前年 11,032 人増)、となりました。1 開催日平均では、MEN が 2,741 人(対前年 695 人増)、WOMEN が 2,301 人(対前年 165 人増)でした。

## (2)V.LEAGUE DIVISION2・3

2019-20シーズンのV.LEAGUE DIVISION2 MENは、参加12チームによる2回戦総当たりリーグ戦のV・レギュラーラウンドの競技形式で、全120試合を実施しました。WOMENは参加8チームによる3回戦総当たりのV・レギュラーラウンドの競技形式で、84試合を実施しました。男女合計で204試合を延べ58会場(MEN34会場、WOMEN24会場)にて開催しました。

観戦入場者数を見ると、合計で73,140人(対前年3,850人減)、MENは36,225人(対前年4,279人増)、WOMENは36,915人(対前年8,129人減)、となりました。1開催日平均では、MENが584人(対前年43人増)、WOMENが839人(対前年88人増)でした。

V.LEAGUE DIVISION3は、MENを4チームによる5回戦総当たりリーグ戦のV・レギュラーラウンドの競技形式で計30試合を延べ9会場にて開催しました。

観戦入場者数を見ると、8,309人(対前年14,712人減)、1開催日平均では、462人(対前年305人減)でした。

\*テレビ放送及び配信に関しては、オフィシャルブロードキャスティングパートナーであるDAZNにおいてDIVISION1合計176試合がライブ配信され、111試合をVリーグ公式動画配信サービスV.TVにて「DAZN on V.TV」として、ライブ配信を行いました。また、DIVISION1の全試合映像を試合開催1か月後よりV.TVにてオンデマンド配信を行いました。DIVISION2の一部試合についても、オンデマンド配信を行いました。また、BS(NHK BS-1、BSフジ)、CS(GAORA)、地上波(ローカル)のテレビ放送も昨年同様放送されました。

## (3)その他

### ①2019 V・サマーリーグ女子大会

DIVISION1(12チーム)、DIVISION2(8チーム)に、大学選抜チームを加えた計21チームが東西2ヶ所に分かれ、西部大会は2019年6月28日～30日にジップアリーナ岡山(岡山県岡山市)にて9チームが参加して開催しました。東部大会は7月5日～7月7日に秩父宮記念体育館(神奈川県藤沢市)にて12チームが参加して開催しました。

西部大会は東レアローズが優勝し、観戦入場者数は3日間で3,072名でした。東部大会は埼玉上尾メディックスが優勝し、観戦入場者数は3日間で2,360名でした。また、V.TVでも配信を行い、視聴者数は西部大会が3日間計1,089名、東部大会が1,360名でした。大会期間中に印象に残る活躍をし、かつ将来性の高い選手に贈られる「フレッシュスター賞」には各DIVISIONから東西それぞれ2名ずつ計4名が選ばれました。

### ②2020 アジアクラブ選手権大会

2020アジアクラブ選手権大会は、新型コロナウイルス感染症のため出場予定国に渡航中止勧告・入国後の行動制限措置があり、ほとんどの国が参加できない状況で大会を開催することが困難であるとアジアバレーボール連盟の理事会において判断され、男女大会ともやむなく中止となりました。

## (4)広報／プロモーション活動

### ①記者会見

2019-20 シーズンの開幕記者会見を男子が 2019 年 10 月 16 日に東京ミッドタウン 4Fカンファレンス(東京都港区)にて、女子は 2019 年 9 月 30 日にインテックス大阪 国際会議ホール(大阪府大阪市)にて実施いたしました。

2020 年 2 月 29 日には、DIVISION1 MEN ファイナルの会場である高崎アリーナにて新型コロナウイルス感染症に伴う Vリーグ主催大会中止に関する会見を実施しました。

### ②2019-20 V.LEAGUE オフィシャルソング

3MC+1トラックメイカーのポップグループ SHIKURAMEN(シクラメン)によって書き下ろされた「V-栄光の歌-」をオフィシャルソングに採用しました。ライブさながらの温かい一体感で会場を盛り上げるナンバーとなりました。DIVISION1 WOMEN 開幕記者会見やファイナルに加えて、ホームゲームにも出演し、トークでも会場を盛り上げました。

### ③V.LEAGUE コラボレーション

#### □V.LEAGUE × アニメ「ハイキュー!!」

「週刊少年ジャンプ」(集英社)で連載中の次世代王道スポーツ漫画を原作とする TV アニメ『ハイキュー!!』とのコラボレーションにより、新規ファンへの認知度向上を図りました。DIVISION1 MEN 全 10 チームの選手によるコラボビジュアルやグッズ制作のほか、開幕記者会見でのメッセージ動画の配信、ジャンプフェスタ 2020 への VリーガーOB の出演など様々な展開を行いました。

#### □V.LEAGUE × 東ハト

昨シーズンに引き続き、東ハト社の受験生応援商品とコラボレーションし、リベロ=ボールを「落とさない」という験担ぎ(げんかつぎ)に掛けて、受験生応援 SNS キャンペーン「#リベロからのお守り」を展開しました。東ハト社公式サイト「カナエル神社」にはブイリー・ブイきちデザインの絵馬なども登場し、相互送客を図りました。

#### □V.LEAGUE × 少女ファイト

青年漫画雑誌イブニング(講談社)で連載中の人気バレーボール漫画「少女ファイト」とのコラボレーションとして、作品内に登場できる「少女ファイト賞」を設けられ、昨シーズンのオールスターゲームで受賞した JT マーヴェラスの栗原恵選手が、2020 年 3 月 10 日発売の 2020 年 7 号に登場しました。

## ④プロモーション活動

### □公式ホームページ

2019-20 シーズンに新サイトへ移行した「公式ホームページ」は、各チームが関係者サイトに入力した情報を Vリーグ公式ホームページに連動するように改修し、ユニフォームカラーや試合開始時のベンチの位置、当日券情報などをまとめて確認いただけるようになりました。指定した URL へ遷移するボタン表示機能が設けられており、各チームのオウンドメディアへの送客効果も狙っています。今後も、ファンの皆様に楽しんでいただけるコンテンツの作成や迅速な情報の提供に努めて参ります。

## □公式 SNS(Twitter、Instagram、Facebook、YouTube)

公式ホームページでは紹介しきれない情報や、一般報道では伝えられない選手関連情報などを紹介しています。写真や動画を使い、特に若年層や女性のファンの皆様にアプローチしていきます。様々な最新情報やアリーナ外でも楽しめるコンテンツの提供に努めています。

## □Vリーグ公式チケット販売サイト(V チケ)

リーグ戦をはじめサマーリーグなどの試合のチケットを販売しました。これまでのチケット販売方法に加え、Vリーグ公式スマホアプリでのチケット引き取りサービスも開始し、V アプリのスタンプラリーと連動させたチケットの販売も実施しました。

## □Vリーグ公式アプリ(V アプリ)

「Vアプリ」ではファンの皆様が知りたい情報や、会場来場時に便利で楽しめる各種サービスを提供しています。2019-20 シーズンより、Vリーグチケットとも連携をし、V アプリ内での発券サービスを開始しました。また、V アプリの来場チェックインやスタンプ機能を活用したホームゲームイベントの実施も行いました。

## ⑥映像配信

### □オフィシャルブロードキャスティングパートナー・DAZN

DAZN では DIVISION1 の 176 試合をライブ中継、また試合開催7日後まで見逃し配信を実施しました。臨場感のある映像と、経験豊富な解説者とともに、V.LEAGUE の面白さが体験できる配信を行っています。また、選手や監督の普段では見られない素顔や意外な一面を楽しんでいただける様なコンテンツや、選手のスーパープレイのセレクション映像などを配信し、ファンの皆様にお届けしました。

### □V.TV

DIVISION1 の 111 試合を『DAZN on V.TV』としてライブ配信したほか、DAZN に加入すれば、V.TV が無料で視聴できるキャンペーンを実施しました。また、DIVISION1 のみでなく DIVISION2 の一部試合もオンデマンド配信されました。

## (8)社会貢献活動

### ①日本骨髄バンク支援活動

Vリーグ機構では、社会貢献活動の一環として、2006/07 シーズンより公益財団法人日本骨髄バンクへの支援活動を行ってきました。2019-20 シーズンも全国各地の V.LEAGUE 大会の会場に横断幕やのぼりを設置し、公式サイトや SNS ではドナー登録の紹介を行う等、骨髄バンクの活動を啓蒙しました。DIVISION1 WOMEN FINAL (2020 年 1 月 26 日)では、Vリーグ現役選手による募金活動を行い、募金総額は 139,817 円となりました。今回の募金については、すべて日本骨髄バンクに寄付させていただきました。

## (9) 普及活動

### ①V・明日夢(みらい)プロジェクト

「V・明日夢(みらい)プロジェクト」は、2012年11月に東京都でスタートし、全国で順次開催してきましたが、これまでの7年間で331回のバレーボール教室を行い、3万人を超える子供たちにバレーボールの楽しさを伝えていきます。

#### □「V・明日夢プロジェクト」バレーボール教室

全国17会場で行われたバレーボール教室は、ビジネスブレイン太田昭和協賛などにより行われ、小中高生や家庭婦人など延べ1,586名が、講師は延べ43名が参加しました。

#### □V・明日夢プロジェクト・武蔵野市内小中学校訪問 活動記録

東京都武蔵野市教育委員会様にご協力頂き、武蔵野市内の小中学校11校へ訪問し、バレーボールの素晴らしさを伝えました。

#### □日野市立三沢中学校女子バレーボール部 with V・明日夢プロジェクト

東京都日野市からの依頼を受け、V・明日夢プロジェクトでは2019年4月～2020年2月までの期間、三沢中学校への部活動指導を21回行いました。

### ②2019Vリーグジュニア選手権大会

Vリーグ機構では、バレーボール競技人口減少への対策として、また未来のVリーグ選手を数多く輩出するため、Vリーグチームのジュニアチームの創設ならびに育成促進に取り組み、その一環として、2015年度よりVリーグジュニア選手権大会を開催しております。第5回大会となった今年度からは女子大会も開催し、2019年8月24日・25日に岐阜メモリアルセンター・で愛ドーム／ふれ愛ドーム(岐阜県岐阜市)にて男子18チーム、女子4チームの合計22チームで開催し、前回大会よりも更にレベルの高い大会となりました。

## (10) 研修会・委員会活動

### ①プレーヤーズミーティング・若手研修会

プレーヤーズミーティングにはVリーグ各チームから43名、若手研修会には50名が参加しました。まず、両研修会合同で千葉ジェッツスタッフの伊藤俊亮氏による講演を聴講しました。その後、プレーヤーズミーティングはグループワーク、若手研修会にはSNSやメディア対応に関する講演を行いました。

開催日： 2019年6月8日(土)11:00～17:30

会場： TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター(東京都中央区)

出席対象者： Vリーグ各チーム代表選手とVリーグ所属3年目までを目安とした若手選手

## ②2019-20 V.LEAGUE キックオフミーティング

「キックオフミーティング」を開催して、V.LEAGUE 大会の運営に関する説明を行いました。

### <キックオフミーティング>

開催日： 2019年7月20日(土)12:30～17:00  
会場： フクラシア品川クリスタルスクエア Hall A (東京都港区)  
出席対象者： V.LEAGUE チーム担当者、JVA、都道府県バレーボール協会、  
全国ブロック理事長、JURY など

## ③JURY 会議

JURY が一堂に会し、2019-20 V.LEAGUE の運用の確認を行いました。

### <JURY 会議>

開催日： 2019年9月7日(土)14:00～18:00  
会場： 豊田合成(株)サンコートイースト(愛知県稲沢市)  
出席対象者： JURY

## ④レフェリークリニック

2019-20 V.LEAGUE の運用の重要事項を確認するレフェリークリニックを開催しました。台風の影響があり、複数日に分けての開催となりました。

開催日： 2019年9月21日(土)13:00～17:00 ※他2回(9月14日、28日)開催  
会場： TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター ホール 7C(東京都中央区)  
出席対象者： JURY、Vレフェリー、V.LEAGUE チーム監督

## ⑤ゲームコーディネーターミーティング

大会の競技以外部分の全体のコントロールを行う、『ゲームコーディネーター』が集まり、その役割と今シーズンの運用等について確認を行いました。

開催日： 2019年7月20日(土)15:30～17:00 ※他1回(9月28日)開催  
会場： フクラシア品川クリスタルスクエア Hall A (東京都港区)  
出席対象者： ゲームコーディネーター

## ⑥各種委員会活動

Vリーグ機構の委員会は、理事会・運営会議等のVリーグ機構主要会議により発議発案された課題や問題など、主にVリーグ機構運営上の重要問題に関して会長が諮問するテーマについて、理事・チーム代表・事務局・外部有識者などが委員となり、研究内容・方向性・一定の結論などを運営会議で報告・提案や理事会・会長に答申する役割を担っています。

主要な小委員会として、「コンプライアンス委員会」、「技術情報委員会」、「ライセンス審査委員会」、「Vリーグ審判運営委員会」などがあり、活動を行いました。



## (11)助成金

独立行政法人日本スポーツ振興センターより、我が国における国際競技力の向上を期すための国の助成金制度「競技強化支援事業助成金(国庫基金)」(2003年度～)および「スポーツ振興くじ助成金」(2011年度～)の交付を受けています。今年度については、両助成金で84.0百万円の交付を受け、マネジメント機能強化、研修会やDIVISION1の活性化及びDIVISION2・3の強化育成・活性化及びVリーグジュニア選手権の開催に活用しました。今年度までの交付累計受入額は596.3百万円に達しています。

今後とも制度の主旨に沿った有効活用を心がけ、改善改革に努め、組織基盤の強化を図り、バレーボール界の普及・発展に邁進してまいります。

## (12)協賛金

今シーズンもDIVISION1への多くの企業より協賛を頂くことができました。協賛いただきました各企業の皆様と、お世話になりました株式会社電通ならびに排球堂マーケティング株式会社に厚く御礼申し上げます。

2019-20 V.LEAGUEは新型コロナウイルス感染症の影響による大会の打ち切りや中止など、苦渋の決断を迫られたシーズンでした。

東京2020オリンピック・パラリンピックも延期となり、国内大会も中止が相次ぐなど、スポーツの底力が試されています。所属チームの運営支援とともに、日本のバレーボール界をけん引する存在として、いまスポーツにできることをチームと共に考え、取り組んで参ります。

社員の皆様におかれましては、今後ともVリーグ機構、日本バレーボール界の発展のために皆様の変わらぬご支援の程、お願い申し上げます。

### 3. 社員一覧

\*社員名、チーム名は2020年6月30日現在（順不同）

社員名	チーム名	区分	基金の口数	基金の額（円）
公益財団法人日本バレーボール協会			12	6,000,000
岡山シーガルズ株式会社	岡山シーガルズ	女子	1	500,000
サントリーホールディングス株式会社	サントリーサンバーズ	男子	1	500,000
株式会社デンソー	デンソーエアリービーズ	女子	1	500,000
東レ株式会社	東レアローズ	男子	1	500,000
	東レアローズ	女子	1	500,000
TG SPORTS 株式会社	ウルブドッグス名古屋	男子	1	500,000
日本たばこ産業株式会社	JTサンダーズ広島	男子	1	500,000
	JTマーヴェラス	女子	1	500,000
日本電気株式会社	NECレッドロケッツ	女子	1	500,000
久光製薬株式会社	久光製薬スプリングス	女子	1	500,000
日立オートモティブシステムズ株式会社	日立リヴァーレ	女子	1	500,000
株式会社ブレイザーズスポーツクラブ	堺ブレイザーズ	男子	1	500,000
パナソニック株式会社	パナソニックパンサーズ	男子	1	500,000
一般社団法人上尾中央医科グループ協議会	埼玉上尾メディックス	女子	1	500,000
株式会社大野石油店	大野石油広島オイラーズ	女子	1	500,000
近畿クラブ	近畿クラブスフィーダ	男子	1	500,000
警視庁特科車両隊	警視庁フォートファイターズ	男子	1	500,000
株式会社ジェイテクト	ジェイテクト STINGS	男子	1	500,000
医療法人青雲白鷺会三好内科・循環器科医院	大分三好ヴァイセアドラー	男子	1	500,000
大同特殊鋼株式会社	大同特殊鋼レッドスター	男子	1	500,000
一般社団法人つくばユナイテッドサンガイア	つくばユナイテッド SunGAIA	男子	1	500,000
医療法人社団天宣会	千葉エンゼルクロス	女子	1	500,000
東京フットボールクラブ株式会社	FC 東京	男子	1	500,000
トヨタ自動車株式会社	トヨタ自動車サンホークス	男子	1	500,000
トヨタ車体株式会社	トヨタ車体クインシーズ	女子	1	500,000
一般社団法人東京ヴェルディクラブ	東京ヴェルディ	男子	1	500,000
富士通株式会社	富士通カワサキレッドスピリッツ	男子	1	500,000
一般社団法人 KUROBE アクアフェアリーズ	KUROBE アクアフェアリーズ	女子	1	500,000
株式会社 PFU	PFU ブルーキャッツ	女子	1	500,000
NPO 法人阪神バレーボールコミュニティ	兵庫デルフィーノ	男子	1	500,000
株式会社きんでん	きんでんトリニティーブリッツ	男子	1	500,000
トヨタモビリティ東京株式会社	トヨタモビリティ東京スパークル	男子	1	500,000
グリーン・サポート・システムズ株式会社	GSS 東京サンビームズ	女子	1	500,000
ぎふ農業協同組合	JA ぎふりオーレナ	女子	1	500,000
NPO 法人アザレア・バレーボール振興会	埼玉アザレア	男子	1	500,000
株式会社 VC 長野クリエイティブスポーツ	VC 長野トライデンツ	男子	1	500,000
一般社団法人プレス浜松	プレス浜松	女子	1	500,000
株式会社信州スポーツプロモーション	長野 GaRons	男子	1	500,000
株式会社 VOREAS	ヴォレアス北海道	男子	1	500,000
株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ	ヴィアティン三重	男子	1	500,000
NPO 法人 NBK dreamers	奈良ドリーマーズ	男子	1	500,000
株式会社群馬銀行	群馬銀行グリーンウイングス	女子	1	500,000
株式会社プレステージ・コアソリューション	プレステージ・インターナショナルアランマーレ	女子	1	500,000
株式会社姫路ヴィクトリーナ	ヴィクトリーナ姫路	女子	1	500,000
NPO 法人 Mirriso スポーツ	サフィルヴァ北海道	男子	1	500,000
ルートインジャパン株式会社	ルートインホテルズブリリアントアリーズ	女子	1	500,000
合計	(45 法人) (46 チーム)		58	29,000,000

## 4. 役員一覧

2020年6月30日現在

代表理事 (会長)	しまおか けんじ 嶋岡 健治	1949年(昭和24年)5月9日生 第10期理事(副会長)、第11期～第14期代表理事会長 (公財)日本バレーボール協会 代表理事
理事 (副会長)	みよし とおる 三好 徹	1947年(昭和22年)4月15日生 第2期～第14期理事 三好総合法律事務所 所長
理事 (副会長)	かしわき ひとし 柏木 斉	1957年(昭和32年)9月6日生 (株)オフィスHM2 代表取締役、元(株)リクルートホールディングス代表取締役社長
理事	かやしま あきら 萱嶋 章	1957年(昭和32年)10月4日生 第8期～第14期理事 久光製薬(株) 上席執行役員、久光製薬スプリングス 部長
理事	まつおか ひろたか 松岡 宏高	1970年(昭和45年)1月22日生 第10期～第14期理事 早稲田大学 教授、ホッケージャパンリーグ 理事
理事	おき たかお 沖 隆夫	1978年(昭和53年)5月1日生 第12期～第14期理事 (一社)日本バレーボールリーグ機構 特命業務担当 リーグ中期改革プロジェクトリーダー
理事	ゼッターランド, ヨーク, カリン	1969年(昭和44年)3月24日生 第12期～第14期理事 (有)オフィスブロンズ 取締役社長、(公財)日本スポーツ協会 常務理事 (公財)東京オリンピック・パラリンピック組織委員会 理事
理事	はやの ようじ 早野 容司	1960年(昭和35年)3月3日生 第6期～第11期監事、第12期～第14期理事 (株)ジェイテクト 理事・東日本支社長、ジェイテクト STINGS ゼネラルマネージャー
理事	やまもと みちひこ 山本 道彦	1966年(昭和41年)9月1日生 第12期～第14期理事 富士通コネクテッドテクノロジーズ(株) 人事統括部 統括部長兼人事部長 富士通カワサキレッドスピリッツ 監督
理事	おおばやし もとこ 大林 素子	1967年(昭和42年)6月15日生 (株)ホリプロ、スポーツキャスター オリンピックムーブメントアンバサダー
理事	くにぶ ひろゆき 國分 裕之	1958年(昭和33年)4月13日生 全日空商事(株) 取締役副社長
理事	さこた よしと 迫田 義人	1948年(昭和23年)4月11日生 (公財)東京都バレーボール協会 副会長
理事	なかの たいざぶろう 中野 泰三郎	1947年(昭和22年)3月11日生 第1期～第5期理事(第4期～第5期副会長) (株)タイアップ 代表取締役社長、元(公財)日本バレーボール協会 代表理事
理事	にしお ひろき 西尾 博樹	1965年(昭和40年)4月18日生 プレスステージ・インターナショナルアランマーレ 部長
理事	かじ よしのり 鍛冶 良則	1955年(昭和30年)8月12日生 (公財)日本バレーボール協会 業務執行理事・事務局長 東京2020大会準備室長
監事	ながた まさと 永田 将人	1958年(昭和33年)10月29日生 第11期～第12期理事、第14期監事 デンソーエアリービーズ 部長
監事	よこい としひろ 横井 俊広	1960年(昭和35年)3月8日生 第14期監事 TG SPORTS(株) 代表取締役社長、ウルフドッグス名古屋 SGM